

| | | | |
|-------|--|-----|-------------|
| 教材教具名 | 洗濯ばさみ挟みの色マッチング | 分類 | 認知★★ |
| | | 授業名 | 個別課題学習(小学部) |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯ばさみとシールの色のマッチング ・手指の巧緻性を高める。 ・手指の力をつける。 | | |

教材教具の概要



使用方法>

- ・洗濯ばさみとシールの色が同じ場所に挟むことを教える。
- ・利き手で洗濯ばさみをつまみ、もう片方の手に持っている板に挟む。

<材料>

- ・洗濯ばさみ、シール、スチロール板

<工夫点>

- ・挟む場所を明確にできるように、シールを貼り、更にマッチングができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・色のマッチングが完璧になった。
- ・最初は、堅そうにしながら洗濯ばさみを挟んでいたが、回数を重ねていくうちに慣れてきたため、力がついてきたと感ずることができた。

| | | | |
|-------|--|-----|----------------|
| 教材教具名 | カードを使った数の学習 | 分類 | 認知★★★★ |
| | | 授業名 | 個別課題/自立活動(小学部) |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・数字と数量を一致させることができる。 ・数を数えて確認することができる。 | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・数字を見て、同じ数のリンゴのカードを貼る。

<材料>

- ・フォトブック、台紙、カード、マジックテープ

<工夫点>

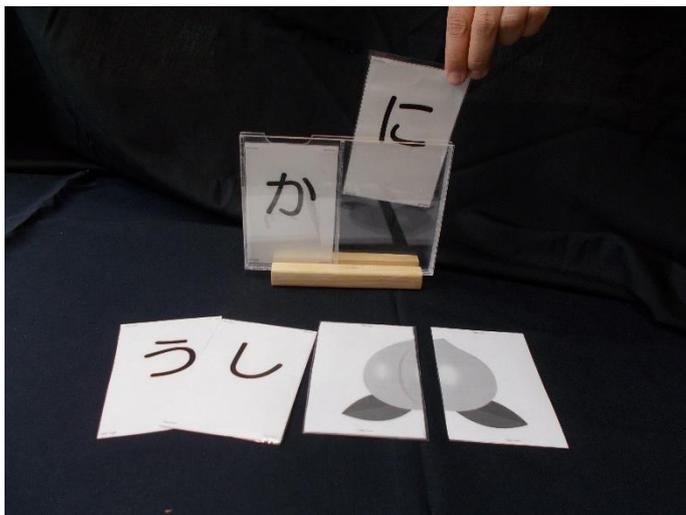
- ・1から順に並べたり、順不同に並べたりすることができるようにした。
- ・指さして数えやすく、児童が確認しやすいサイズにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・数を丁寧に数えるようになった。

| | | | |
|-------|-----------|-----|-----------|
| 教材教具名 | 絵合わせ・文字構成 | 分類 | 認知★★★ |
| | | 授業名 | 個別課題(小学部) |
| ねらい | ・文字構成の学習 | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・文字面をみて単語を作る。
- ・裏に返し絵が完成しているかを確認する。

<材料>

- ・アクリル板、紙(カード)

<工夫点>

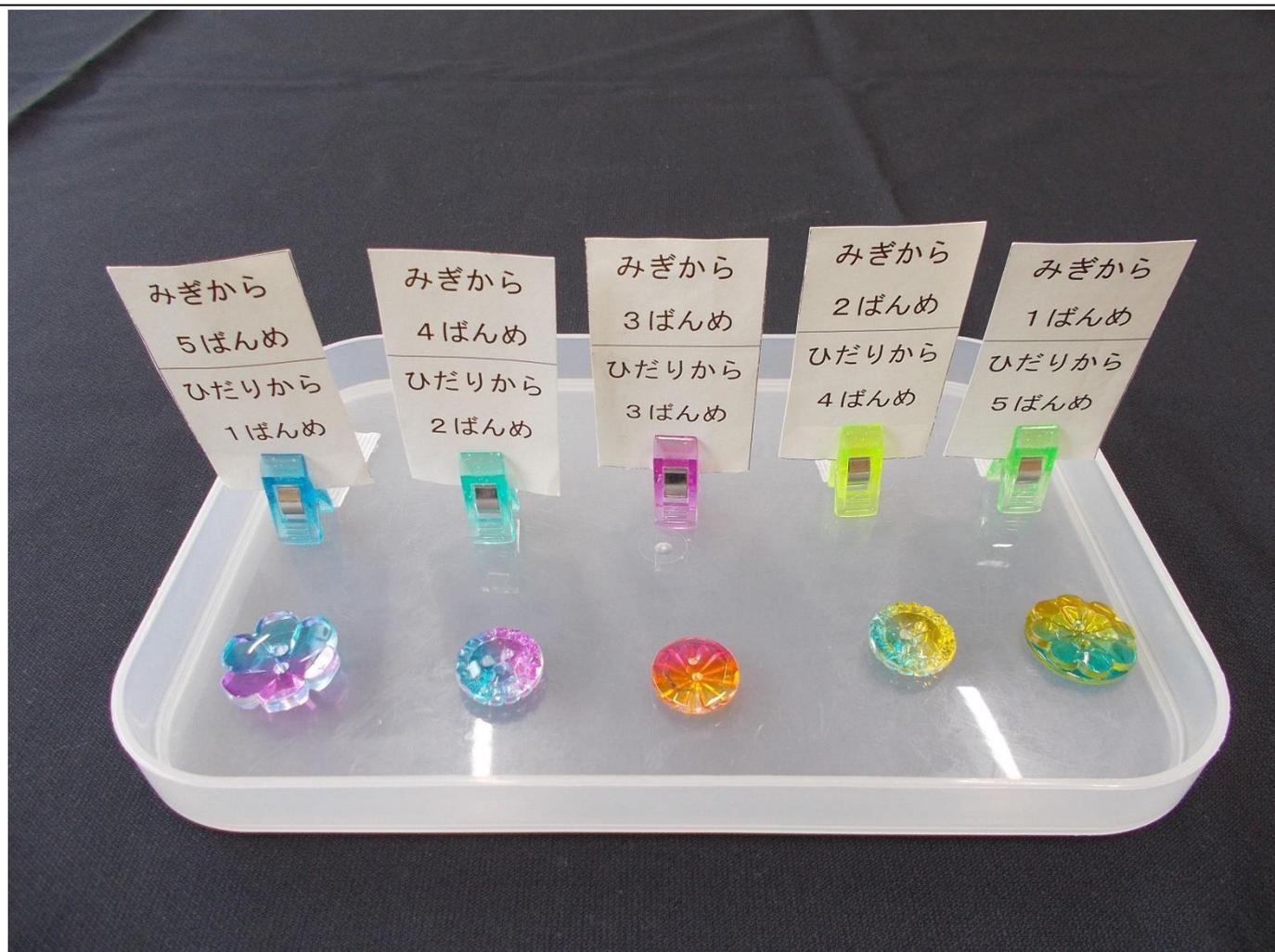
- ・アクリルを使い両方向から見られるようにして絵合わせ・文字構成の両方ができるようになっている。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・楽しく学習を行うことができた。

| | | | |
|-------|------------------|-----|-----------------|
| 教材教具名 | なんばんめ？ | 分類 | 認知★★★★★ |
| | | 授業名 | 国語・数学・自立活動(高等部) |
| ねらい | ・左右から何番目にあるかの理解。 | | |

教材教具の概要



<使用方法>

・「右から〇番目のきらきらください」と伝え、取って教員に渡す。

<材料>

・ビーズ、クリップ、紙

<工夫点>

・生徒が好きなビーズを使った。

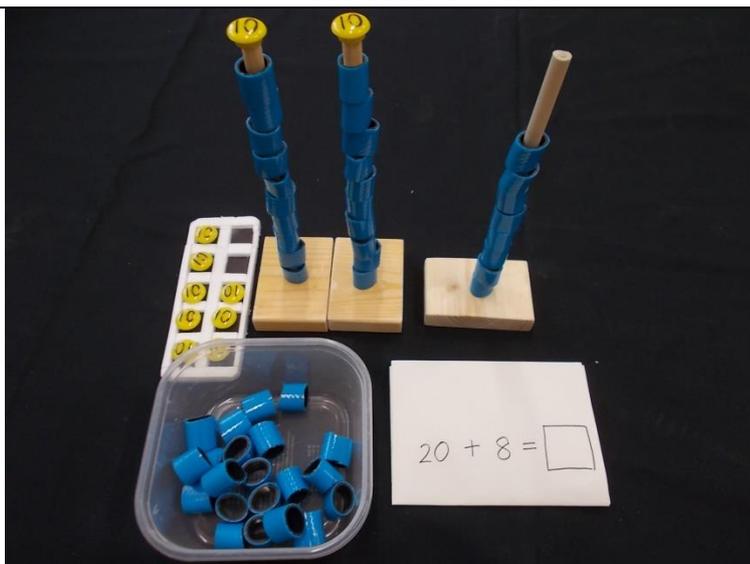
・視覚的の手がかりとして右から何番目か左から何番目にあたるかを表示しし、間違わずにできるようになったら手がかりを外して問題に答えられるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・興味のあるビーズにしたため、飽きることなく取り組むことができた。

| | | | |
|-------|--------------------------------|-----|---------|
| 教材教具名 | 目で見る数 | 分類 | 認知★★★★★ |
| | | 授業名 | (小学部) |
| ねらい | ・10のまとまりを意識して、たし算の計算をすることができる。 | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ホースを一つずつ棒に通す。
- ・10になったら、棒の上に黄色のマグネットを付ける。
- ・数えて式の答えを求める。

<材料>

- ・木材、ホース、釘、マグネット、ケース

<工夫点>

- ・10のまとまりを意識するため、10個ホースを通したら、**10**のマグネットを付けるようにした。
- ・ホースを縦に積むことで、量を感じられるようにした。
- ・誤飲がないように、ホースを飲み込めないサイズにした。磁石は、学習の終わりに、全部そろっているか一目で確認できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・10のまとまりを意識して計算ができるようになった。
- ・現在は、 $20 + 80$ や $50 + 6$ などの計算を、この教材がなくても暗算や点を書いて答えを求められるようになってきた。

| | | | |
|-------|--|-----|------------|
| 教材教具名 | 方向について学ぼう | 分類 | 認知★★★★★ |
| | | 授業名 | 国語・数学(高等部) |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・物の上下左右の位置を理解する。 ・主語、述語を正しく用いて文を作る。 | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・アクリルのケースの中や、板の上に物を複数個乗せる。
「〇〇(物の名前)」の「右」にあるものは何ですか?等の質問をして、答えさせる。
- ・状況を表す、「〇〇の右に△△があります。」という文を作る。

<材料>

- ・アクリル板

<工夫点>

- ・アクリルを使い、外から物の確認ができるようにしている。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・自分や友達の持ち物を用いることで興味を持たせることができ、学習意欲が向上した。
- ・質問の中の助詞に着目させることで、主語述語や方向への理解が高まった。

| | | | |
|-------|--|-----|---------|
| 教材教具名 | お金の学習セット ・両替ポケット ・お財布 ・支払いトレイ | 分類 | 認知★★★★★ |
| | | 授業名 | (小学部) |

ね
ら
い

- ・金種別に硬貨を並べて、お金を数えることができる。
- ・両替の概念を理解する。
- ・指定された金額を支払うことができる。

教材教具の概要

<使用方法>

- ① 両替ポケットを使って、異なる金種の合計金額を数える学習を行う。
- ② 買い物学習の中での支払い時にお財布と支払いトレイを利用して必要な金額を払う。

<材料>

【両替ポケット】

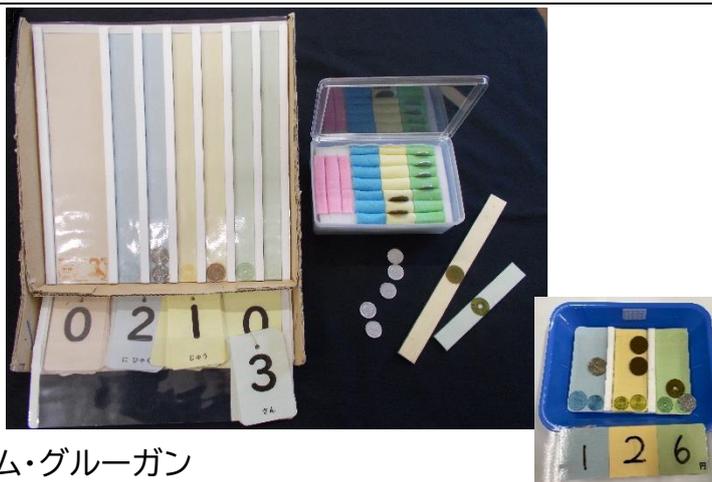
- ・クリアケース・透明テープ・お金の写真

【お財布】

- ・プラスチックケース・スポンジ・フェルト・平ゴム・グルーガン

【支払いトレイ】

- ・支払いトレイ・ラミネートフィルム・マジックテープ



<工夫点>

- ・スモールステップで少しずつ学習を積み重ねてきた児童にとってわかりやすいように、位わけの色を統一させた。
- ・1円玉×5枚=5円玉×1枚 など、両替の概念を視覚的に伝えるため可動式の両替ポケットを用意した。
- ・お金滑り台で金額を数えることができても、指定された金額を支払うことは難しかったため、トレイを工夫し、自分でそれぞれの硬貨が何枚ずつ必要か確認できるようにした。

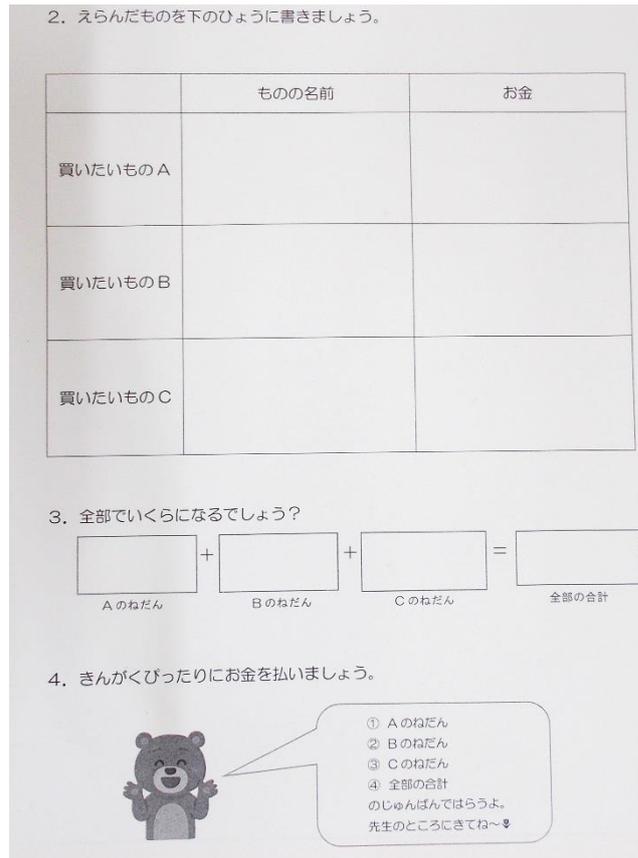
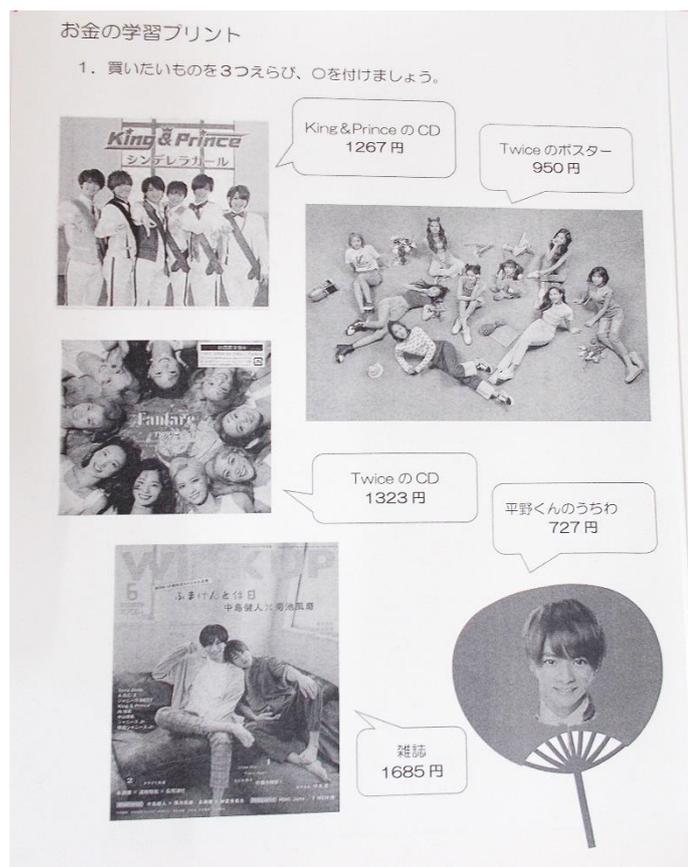
<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・両替の概念を理解し、硬貨を数えることができるようになった。
- ・硬貨を数えることはできるが、支払いが難しかった児童に対して、お金トレイを使用することで、今まで行っていた学習の流れとは逆の発想ができるようになってきた。

（お金滑り台：お金を数える → 金額を書く）
（支払いトレイ：金額を書く → お金を数えて出す）

| | | | |
|-------|------------------|-----|-------------|
| 教材教員名 | お金の学習プリント | 分類 | 認知 ★★★★★ |
| | | 授業名 | 国語・数学 (高等部) |
| ねらい | ・購入品の合計金額の計算をする。 | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・国語数学の個別学習（金銭の学習）のときに使用。
- ・プリントに購入品を選択して値段を書き込む。
- ・計算し合計金額を出す。

<材料>

- ・ワードで作成。おもちゃのお金と共に使用。

<工夫点>

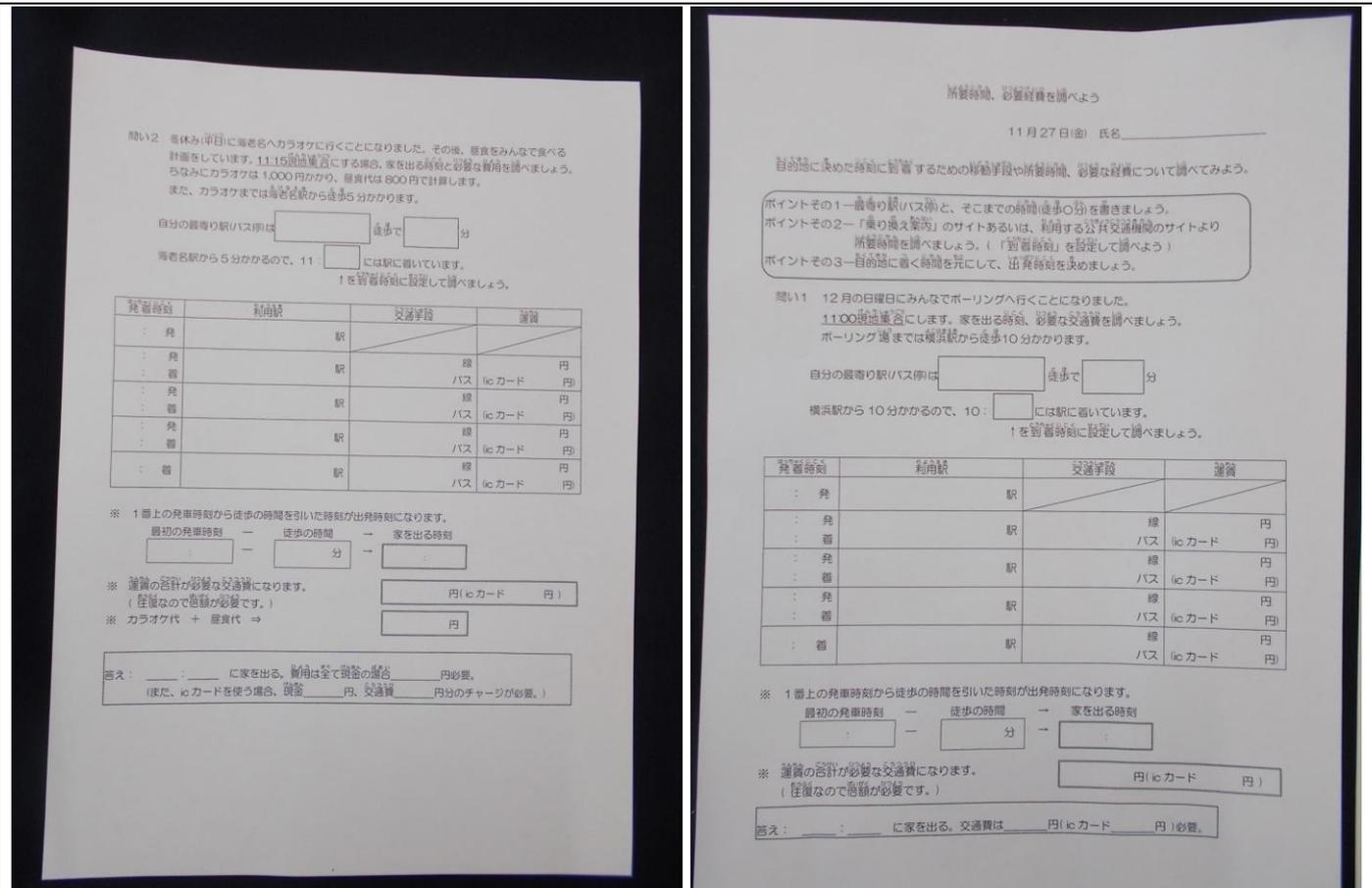
- ・好きなアイドルを用いることで、国語数学に対して苦手意識を持っている生徒が少しでも学習に興味を持てるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・他のお金の教材より興味を示し、取り組むことができた。

| | | | |
|-------|---|-----|-------------|
| 教材教員名 | 待ち合わせ学習プリント | 分類 | 認知 ★★★★★ |
| | | 授業名 | 国語・数学 (高等部) |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> 待ち合わせるための必要事項を知る。 乗換案内サイトと連動して、出発時刻、必要経費を知る。 | | |

教材教員の概要



<使用方法>

- PC およびタブレット端末から調べた情報を、プリントに書き込んで使用。順番に書き込むことで、出発時刻や交通費を導き出すことができる。

<材料>

- コピー用紙

<工夫点>

- 記入のポイントを作り、記入がしやすいように工夫をした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 入力した情報の意味の理解につながり、必要な情報を知ることができた。